

つゆくさ



町内図

町の中で見かける写真のような地図、昔から張られたままのものも見かけます。写真のものは富岡町 稲穂小学校の近くの地図で、昔 学校の正面にあったスナックは小学生のとき怪しいと思っていました。地図の右上 4 分の 1 は妙見市場のお店の名前が書かれています。昔はこんなに店があったんですね。

ちなみに今でもある横田鮮魚店のたこ刺しは個人的には小樽一おいしいと思っています。

遅くありませんが。。

春の新人さんです

田中 藤樹 (たなか とうじゅ)

- ①小児科医師
- ②青森県弘前市
- ③弘前大学
- ④人見知りでおっちょこちょいですが、小児科を盛り上げていきたいと思っています。

増山 美沙 (ますやま みさ)

- ①外科医師
- ②上湧別町
- ③札幌医科大学
- ④外科医に見えないかと思いますが一生懸命頑張ります。

加藤 辰輔 (かとう しんすけ)

- ①小児科医師
- ②札幌市
- ③札幌医科大学
- ④ご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、よろしくお願いたします。

寺山 敬介 (てらやま けいすけ)

- ①研修医
- ②札幌市
- ③群馬大学
- ④2年間全力で頑張ります。

磯山 友幸 (いそやま ともゆき)

- ①研修医
- ②名古屋市
- ③北海道大学
- ④未熟な部分はやる気でカバーしたいと思っています。よろしくお願いたします!!

越智 龍太郎 (おち りゅうたろう)

- ①研修医
- ②札幌市
- ③札幌医科大学
- ④何事も一生懸命頑張ります!

中山 裕司 (なかやま ゆうじ)

- ①医事課 (診療情報管理)
- ②釧路市
- ③函館大学
- ④これまでの経験、資格を生かし貢献したいです。

鈴木 啓司 (すずき けいじ)

- ①医事課
- ②小樽市
- ③北海学園大学
- ④なるべく自重して生きたいと思えます。

濱田 麻美 (はまだ あさみ)

- ①4F助産師
- ②余市町
- ③北海道立衛生学院
- ④一生懸命頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

石橋 由紀 (いしばし ゆき)

- ①3F看護師
- ②岩内町
- ③帝京山梨看護専門学校
- ④一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

中島 さゆり (なかじま さゆり)

- ①3F看護師
- ②帯広市
- ③北海道社会事業協会帯広看護専門学校
- ④一日も早く病院に慣れ仕事を覚え患者さんにより良い看護を提供していけるよう頑張りたいです。

竹下 ちさ子 (たけした ちさこ)

- ①5F看護師
- ②枝幸郡枝幸町 (旧歌登町)
- ③北海道立衛生学院 (保健婦科)
- ④遅いスタートですががんばります。

守田 美賀 (もりた みか)

- ①5F看護師
- ②小樽市
- ③北海道社会事業協会帯広看護専門学校
- ④多くの知識や技術を身につけ頑張っていきたいです。

福井 綾香 (ふくい あやか)

- ①5F看護師
- ②札幌市
- ③函館医療保育専門学校
- ④毎日一生懸命学び、信頼される看護師になりたいです。

新井 友奈 (あらい ともな)

- ①6F看護師
- ②中標津町
- ③北海道社会事業協会帯広看護専門学校
- ④仕事を早く覚えられるように頑張っていきたいです。

藤井 あかね (ふじい あかね)

- ①6F看護師
- ②札幌市
- ③函館医療保育専門学校
- ④一つ一つの出会いを大切に、そして常に学ぶ姿勢を忘れずに働いていきたいと思えます。

只野 彩子 (ただの あやこ)

- ①6F准看護師
- ②厚沢部町 (メイクインの里です)
- ③函館医師会看護専門学校
- ④早く仕事を覚え、患者さんに安全な看護が出来るようにがんばりたいです。





(4月はじめの新人オリエンテーション時の記念写真です。勤務の都合で写っていない方もいます。)

後列の左から

石橋由紀さん、木下麻子さん、守田美賀さん、福井綾香さん、新井友奈さん、藤井あかねさん、
相原香津代さん、中山裕司さん、鈴木啓司さん

前列の左から

寺山敬介先生、磯山友幸先生、越智龍太郎先生、(本房事務部長、川村院長、坂本看護部長)
濱田麻美さん、中島さゆりさん です。



RED NOSE DAY 2010.8.7

今年も8月7日に「RED NOSE DAY」
がやってきました。12時少し前に講堂
に集まった職員はカウントダウンと
ともに12時ジャストにNose Onしま
した。今年の8月7日は土曜日になっ
たため外来が終わらず集まれた職員
の数もいまいち少な目でしたが2年連
続でのNose Onでした。さて来年の8
月7日は・・・あれ？日曜日！？まあ、
笑顔を贈るのは年に1回だけでなく
もいいですよ。



「ゴミ拾いボランティア」活動の報告

薬局長 渡辺 秀一

2010年8月21日(土)午後1時・・・病院玄関前は職員でいっぱい！・・・そうです、今日は地域住民のためにゴミ拾いを行うボランティアの日でした！



土曜の午後、そして雨が降りそうな蒸し暑い日にもかかわらず沢山の職員がボランティアの企画に賛同し、集まっていただき、ありがとうございます。参加者はナント合計52名(職員51名+高島さんの息子さん)にもなりました。お陰様で広範囲に落ちていたゴミを拾う事が出来ました！



午後1時から病院が用意してくれたゴミ袋と軍手、火バサミを持って7班(チームあべっち！・おっくう・さかつきー・新・鷹・ナガ・サウス)に分かれてごみ拾いを行いました。大粒の汗をかきながらの約25分間でしたが、思った以上にゴミは落ちているものですね！医師用の職員駐車場の奥には日本酒のワンカップの瓶があったり、探すと不思議なものでゴミは固まって落ちているようです。嬉しい事に通りすがりの自転車のおじいさんがゴミ拾いをしている職員に対して「ご苦労様！」と声をかけてくれたそうです。これはボランティアの我々にとって非常に嬉しい一コマですね！！



今回のボランティア活動は何処にもPR活動は行っていません。ただ総務課の佐藤課長から事前に、住ノ江町内会副会長へゴミ拾いの計画は連絡してあったそうです。副会長の話では、以前は老人会で行ってたゴミ拾い・・・でも高齢化のため現在は行ってないそうです。ですから、副会長はとても喜んでくれたそうで、ゴミ拾い当日も病院まで足を運んでくれました。この話を聞いて「65～90歳以上の老年人口が人口の30.74%を占める高齢化都市の小樽で、この企画が継続できたらなあ～」と思いました。協会病院職員による初めての「ゴミ拾いボランティア」活動でしたが、住ノ江地域住民の皆さんには協会病院有志からの『心のプレゼント』として、きっと届いたことでしょう！



いや～皆さん本当にお忙しい中、そして暑い中、ご自身の時間を費やして頂き、ゴミ拾いというボランティアに快く参加していただき、深くお礼申し上げます。皆さんの気持ちに、感謝 m()m・感謝 m()m です！！

・・・次回の「ゴミ拾いのボランティア」ですが、予定では「雪が降る前、雪が融けた頃」にお誘い致したいと思っておりますので、ご協力をお願いしますね！お疲れ様でした、そしてありがとうございました！！！！



【活動風景】



アーバン薬局付近



住の江市場付近



病院正面玄関



喫茶店パステル付近



南小樽駅付近



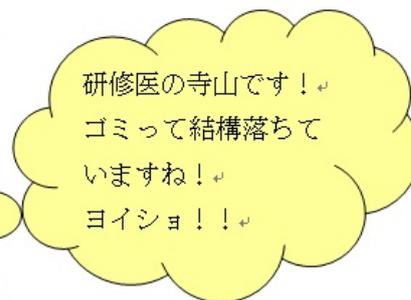
中島釣具店付近



入船十字街付近



双葉中学校付近



研修医の寺山です！
ゴミって結構落ちて
いますね！
ヨイショ！！

床上浸水発生!!

8月7日の豪雨を覚えていますか？すごい雨でした。この雨で元の在宅支援あけぼのがあった一角に雨が流れ込み床上浸水の被害が出ました。病院横の側溝が溢れ（側溝のふたも外れていたようです）、建物入り口にあった側溝も溢れた模様で一気に建物内に水が流れ込んだようです。

ゲリラ豪雨、北海道でも気をつけなくてはなりませんね。

9日月曜日の朝、浸水した床を清掃中
ダンボールなども水浸しになった



2010年潮まつり



毎年恒例の潮祭りのねりこみ、今年は約 100 名の参加がありました。去年は雨に打たれながらのつらい踊り。さて今年は？と思ったら朝からまさかの大雨！こりゃいかんとカップを求め開店直後のマイカルへ。やはり、考えることはみな同じ。カップ売り場は大混乱！まとめて 10 枚買う人などあつという間に売り切れ状態に。何とか子供用を確保して、家に帰ると、すっかり雨も上がり何をあわててたんだろとがっかり。本番は晴れて非常に蒸し暑くなり、これはこれで大変でした。今年は、行事委員の皆さんが協会病院の名前の入ったうちわを作って、沿道の皆様に配ったところ大好評！参加者も大きな掛け声で例年になく盛り上がりました！また、今年はオバQが仮装で参加。「お化けだ、お化けだ」と子供達に声をかけられるは、「一緒に写真を撮ってください」とこれが、大人気！中に入った佐藤さんに軽い嫉妬を感じてしまいました。汗だくになって何とかステージへ。打ち上げのビールが体にしみました。参加された皆さん、お疲れ様でした。また準備で大変だった行事委員の皆様、本当にごくろうさまでした。(渡)



『医師クラーク』活動はじめました！

平成22年7月より勤務医の負担軽減策の一環として医師事務作業補助者（当院では『医師クラーク』と呼ぶことになりました。）が配置され業務が開始されました。現在、那須博美さんと高島富美子さんの2名がその任に就いています。（所属は医事課です。）



現在の主な業務は、診断書作成支援システム《MEDI-Papyrus（メディ・パピルス）》を用いて、各外来で預かっている書類（生命保険証明書及び診断書等）の下書き処理を行っています。なお、医師事務作業補助体制加算《100対1》の届出（入院基本料にプラスされています。）をしているため、施設基準上、医師以外の職種の指示の下に行う業務、診療報酬の請求業務、窓口・会計業務、医療機関の経営・運営のためのデータ収集業務、看護業務の補助及び物品運搬業務などに携わることはできません。今後は、医師の指示の下で診療に関するデータ整理やオーダーリング代行入力なども検討予定であり、活躍の場が広がることを期待されております。

以上、簡単ではありますが『医師クラーク』について紹介させていただきました。
みなさんどうぞよろしくお祈りいたします。



アロマテラピーを活用して

助産師 佐々木 由美

アロマテラピー（仏：アロマセラピー）という言葉がここ数年で、以前より、耳にする機会が多くなり、日常生活の中でも気軽に使う方が増えてきたと思います。香りの歴史は古く、儀式や病を患った人への薬としての活用など様々な用途に応じて使用されてきました。ただ、「アロマテラピー」という言葉が生まれたのは、90年ほど前の話で、フランスの化学者が火傷した際に、ラベンダーの精油（植物から抽出した天然成分）を浸け、治癒したことから、精油の医学的効用についての研究が始まり、「アロマテラピー（芳香療法）」という言葉が作られたそうです。現在では、欧米を中心に代替医療の一つとして、産婦人科、介護、ホスピスなどの医療現場においても活用されるようになりました。

精油にはそれぞれ特有の香りと効能があり、身体面、精神面に作用します。その効果をマッサージ、入浴、芳香浴など様々な方法を用いることで、皮膚や鼻から吸入し、内分泌系、免疫系、自律神経系などに複合的に作用し、健康の維持増進、ストレスの解消、リラックス効果により精神的な安定をもたらす、自然治癒力を高めるといった効果があるとされています。

私がアロマテラピーを学ぼうと思ったきっかけは、もともと代替医療全般に漠然と興味があったという事と、仕事をしていく中で、関わらせていただく方々に対して、身体面だけではなく、緊張や不安など精神面からも何かアプローチ出来ないかと思ったことでした。資格をとった現在は、火曜日と水曜日の午後の時間を使ってアロママッサージを行なっています。妊娠出産の時期や状況に合わせてオイルや使用方法を選択しながら使用させていただいています。今は妊産褥期に活用する機会が多いのですが、今後少しずつ活用する幅を広げていけたらと考えています。

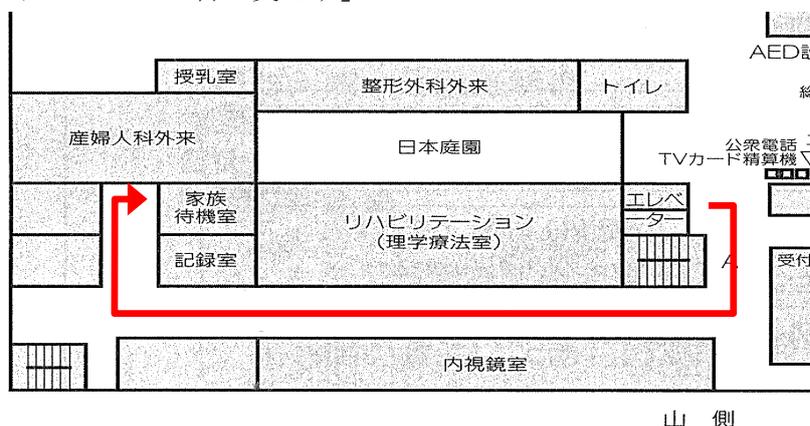
家族待機室 利用再開のお知らせ

外来化学療法室の移転に伴い、1月下旬から休止となっていた家族待機室の利用が7月27日より再開されました。利用方法は以前と同じで、患者様の急変、危篤状況など、ご家族が院内に待機せざるを得ない場合に利用が可能です。利用時間は午後8時から翌日午前7時までです。

申し込みは、各病棟にあります利用届票に記入の上、事務宿直者までご連絡下さい。

※利用の申し込みが複数の場合など、利用出来ない場合もあります。

[場所は1階リハビリテーション科の奥です]



編集後記

今年の夏は異常に暑く、30℃を越える日が続きぐったりでした。ポーターでXPを撮りに行くと、1人撮影ただけで汗びっしょりです。バテ気味の体にスタミナのつく食べ物の話！と思いましたが今回は3Dの映画の話のひとつ。(相変わらず仕事と関係なくすいません)

いまや映画は3Dが主流で、何でも3Dです。この私も以前、誰よりも先に3D体験して話のネタにしようと思い、小樽の映画館で「アバター」を見に行こうと、ワーナーマイカルへ。券売り場で大人一枚買おうとしたら「当館の上映は2Dですがよろしいですか？」と聞かれ、絶句！いまさら札幌まで行くのもしんどくそのまま観てしまいました(観た後でかなり後悔)。その後、しばらくして家電店で「石川遼」を3DTVで見て感動。今度は映画館で観たいと思い、ついに観に行きました。「トイ・ストーリー 3」を(名作です)。メガネの上にさらに3D用メガネというかなり辛い状況ですが、おおっ、映画の予告からガンガン飛び出してくる！本編が始まると、最初は立体感に感動していましたが、そのうちその感覚も無くなり普通に映画に集中していました(相変わらずメガネONメガネは辛いですが・・・)。もともとトイストーリーは大好きで、今回の話は、いままで遊んでくれていた子供(アンディー)が大人になって、お別れが来た時(もういなくなる時)、どうなるのがおもちゃの幸せなのか(屋根裏にしまわれていつか出してもらおうのを待つ、ほかの小さな子供の所に行く)という感じです。細かく書くとネタバレしてしまいますのでこの辺にしますが、映画のラストでアンディーが自分の遊んできたおもちゃとの思い出を語るシーンで号泣してしまいました(自分だけ?)。それで判りました。3D映画でメガネONメガネだと、涙を拭くのがえらい大変です！涙を拭くたびガチャガチャとうるさいこと！途中から拭くことをやめました。おかげで襟元がびしょびしょです。今度から泣ける映画は2Dにしようと思いました。「そんなオチかいっ」と突っ込まれそうですが、話はもう少し。いま私たちは仕事で3DCT等を作っていますが、あれは立体的に見える2Dであって先ほどの映画のように奥行き感がありません。胃カメラや腹腔鏡の手術でもモニターに映し出される画は2Dです。しかし、もうすでに医療現場には3Dが来ていて、映画と同じように手前と奥までの距離感、針子との距離感が簡単に、リアルタイムでつかめるというすばらしいシロモノで、あと数年で私達のところにもやってくると思います。その時に、やはり3Dメガネが必要なのかと思うとちょっと憂鬱です。メガネONメガネはちょっと・・・。(渡辺)

小樽協会病院広報誌“つゆくさ” NO.37
発行：小樽協会病院 編集委員会
発行日：平成22年9月
発行人：川村 健
編集人：渡辺 直輝